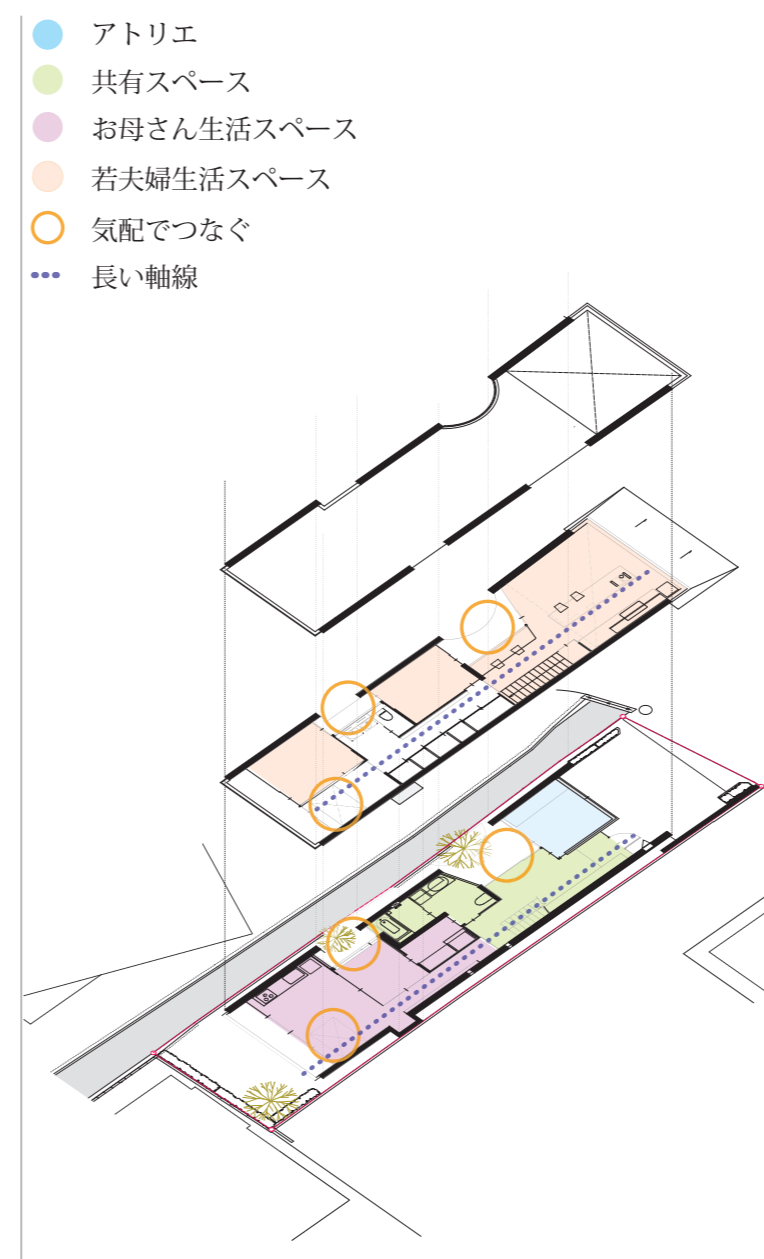


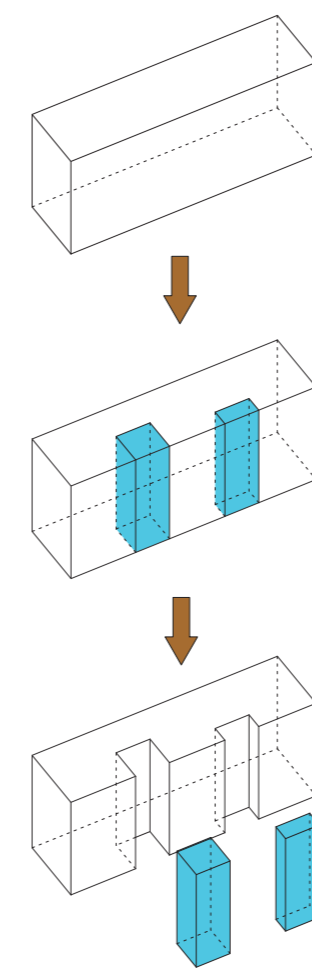
# 井口の家



水路から見る



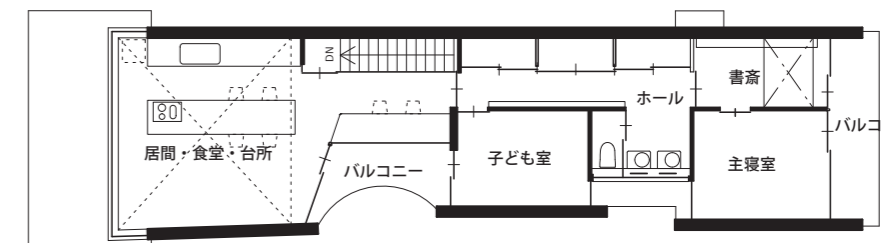
## ダイアグラム



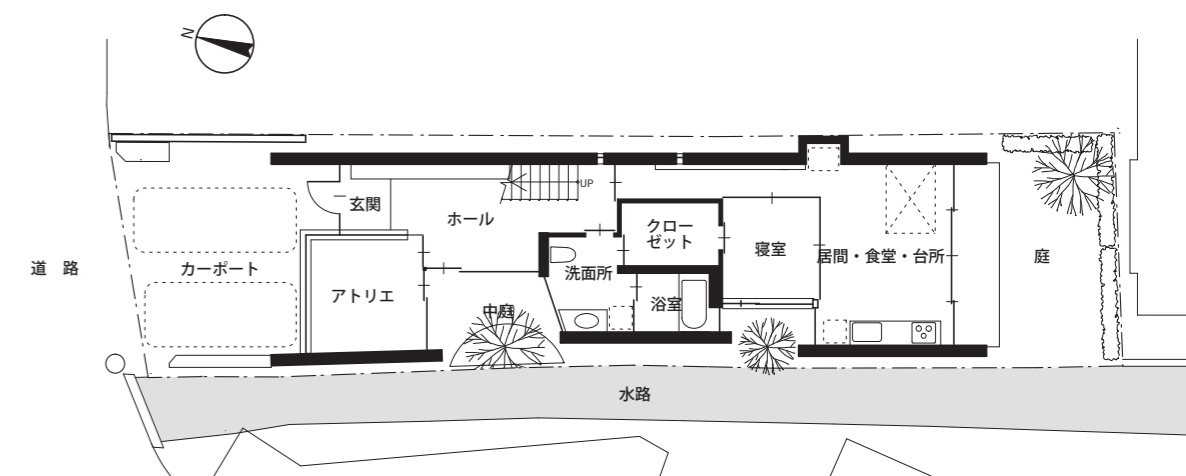
長い筒状の箱を2ヶ所ほど切り取った。これにより採光・通風・風景を享受することができるようになり、広がりや気配を感じられる魅力ある空間になった。



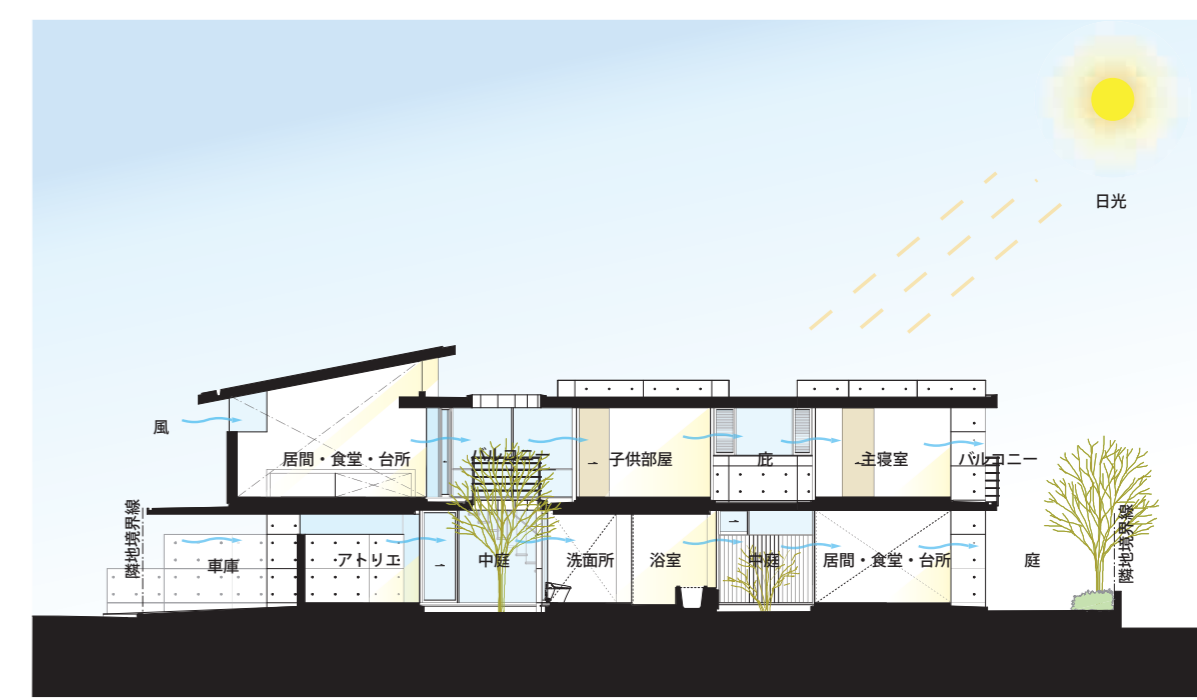
建物全景。3つのボリュームに分散されている



2階平面図



1階平面図



断面図

敷地は広島市の西部、旧街道沿いにあり、周辺は古くからの街並みが僅かながら残っている。間口6m×奥行き26mという町屋特有の南北に長い敷地形状をしている。住宅が密集しているエリアの中で、西側に流れている小川が心地よい。一人暮らしのお母さんと若夫婦家族が、この敷地と出会い二世帯住宅を建てることになった。お母さんのプライバシーを尊重しながら、自宅で仕事をしている奥さんのアトリエを併設するなど、お互いが適度な距離感を保ちながらも支えあって暮らしたいというのが要望だった。

敷地の形状から建物が南北に20mと長くなかったため、小川に面する外壁の2ヶ所を切り取ることにした。その切り取られた部分で建物は3つのヴォリュームに分節され、街並みのスケールに合わせることもできた。また、外壁の角波鋼板を連子格子に見立て、勾配屋根や低い庇を設けるなど、伝統的な街並みの要素を抽象化しながら取り入れていった。

1、2階のそれぞれに、建物を南北に貫く軸線（動線・視線・通風）を設けている。一直線に見通せることで狭い間口から来る閉塞感が和らぎ、軸線に沿って設けられたカウンターや階段、壁面収納など、建物の長さを機能的にも生かすことができた。外壁を切り取ることで、内部空間を豊かにすることも期待した。その効果として、1.空間に特徴を与える。2.採光・通風・水路の景観を享受する。3.外部でありながら内部的広がりを感じる。4.各部屋の視線の繋がりがとれる（各階で又は上下階で）。

周辺では、細長い敷地が生かされず空地や空屋が目立っている。この建物が現代版の町屋として街に元気を与えてくれることを願っている。



1階居間・食堂・台所1より見る



1階アトリエより中庭を見る



2階居間より水路を眺める



夜景

名称 井口の家  
所在地 広島市西区井口  
主要用途 二世帯住宅（アトリエ併設）  
構造 鉄筋コンクリート造  
階数 2階建  
面積 敷地面積 162.88㎡  
建築面積 93.79㎡  
延床面積 176.05㎡



1階洗面所より中庭を見る



2階台所より2階全体を見る